

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなろクラブ神埼		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 10日		～ 令和8年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの特性やペースに合わせてスケジュールを組んでいる。 構造化された環境設定なので落ち着いて過ごすことが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントやモニタリング等で個人に応じて必要な個別支援アイテムなどがあれば、保護者様と共有しながら準備している。 その日の児童の状況や特性に対応してスケジュールを組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報は職員全体に周知し、話し合いを密におこないながら児童にあったアイテムを準備している。 前回の支援内容や児童の様子を朝礼やアセスメントシートで共有する
2	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的な提示を徹底している。 聴覚過敏等への配慮をし、声掛けが多くならないよう職員全員が配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい玩具等を取り入れた時は、写真を撮り、玩具リストに提示して、要求しやすい環境を作っている。 視覚支援カード・タイムタイマー・個別スケジュールで見通しがもてる環境作りを配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員全体で取り組んでいる。 支援内容の共有をし、職員全体で支援内容を整えている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが利用者に寄り添う支援を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼等で気になる事があれば、話し合い、情報共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援や特性について社内研修をおこなっている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動で体を動かすスペースがない 	<ul style="list-style-type: none"> 室内が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> 公園遊びなどの外出活動を取り入れ、体を動かせるように配慮している。
2	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの空間を作るのが難しい。聴覚過敏の利用者のクールダウンする空間が作れない。 	<ul style="list-style-type: none"> エリアスペースを工夫して安心して過ごせるようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の空間環境を整える。またイヤマフを使用する時もある。 イライラした際の対処法を特性に応じて伝え、対応出来るように支援にあたっている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 個別活動時での宿題への取り組みの時に、個別の環境を作る事が難しい時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 静かな環境で取り組む必要のある児童には、児童エリアを活用し、個別の環境を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> パーテーション等を利用して集中できる環境を整える

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あすなろクラブ神埼

公表日 年月日 令和8年 4月 1日

利用児童数 年月日 27名

回収数 20世帯

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	7	2		・遊ぶスペースが確保できているとはいえない。 ・少し狭くはあるが、支援できるような配置は工夫されていると思います。	限られたスペースの中工夫して安心して過ごせるようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		2	実際に現場にいないので分からない。	利用人数に応じた職員配置をしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1		2		危険がないよう定期的に、環境整備を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18			2		毎日の清掃を行なっています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2		3		定期的に職員間で会議を行ない、情報共有をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	3		1		支援プログラムにそった支援を行っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	2				職員間で情報共有を行ない作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1		1		家族や関係機関との連携を行ない支援内容を決定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2				計画に沿った支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	4				個々に応じた活動を提供しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	6	1	4		定期的に大学生や他事業所の子どもたちとスポーツする機会を設けています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	2	5		今後検討していきたい。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	1	1			送迎時や面談の時に話をさせて頂いています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	1			定期的に行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1		1		子どもとの信頼関係が築けるように支援しています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6	5	5	4	深く関わりを持つことが出来ないため。	今後検討していきたい。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	4		2		相談があった際には、迅速に職員間で情報共有し、対応いたします。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2				送迎時や連絡帳にてお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	4				通信やInstagramを定期的に行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1		1		取り扱いには、十分注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	3		4		マニュアルを周知し、定期的な実施、公表を行なっています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		5		定期的な実施し公表しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			2		定期的な環境整備を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1				どのお子様も楽しめるような環境整備、活動設定を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19			1		ご家族や関係機関と連携を行ないより良い支援が出来るようにします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あすなろクラブ神埼				公表日		令和8年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	エリアスペースを工夫して安心して過ごせるようにしているが、エリアも限りがある。	個別の対応ができるよう環境整備をおこなう。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		特性や状況によっては2人体制で配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1		現在必要としていないが、様々なケースに様々なケースに対応できるように段差や通路などのバリアフリー化を検討していく。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃は欠かさず行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		エリアスペースを工夫して安心して過ごせるようにしている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			事業所または職員それぞれのタスク表の作成から、進捗状況の見える化など、より効率的業務遂行に努めていきたい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		回収したアンケートのご意見は事業所で周知をおこない改善に繋げている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の朝礼等で意見交換の場を設けている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		今後、検討していきたい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	連絡協議会などを通して研修には積極的に参加し、事業所での周知を行っている。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		連絡帳や電話での聞き取りから、ニーズの把握を行っている。	面談の機会を設け、より細やかな情報共有を図ってきたい。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ケース会議やモニタリング等で検討している。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全体に周知し、おこなっている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ねらい及び支援内容を踏まえて設定している。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			他事業所や関係機関等との情報交換により、活動内容の視野を広げていきたい。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		特性や利用頻度を考慮しながら、毎月の計画をおこなっている。				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの特性に応じて行い作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	毎朝の朝礼を欠かさずおこない、円滑な支援やヒヤリハット防止に繋げている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	ケース記録を確認し、その日の様子や支援内容について確認している。一部職員は早めに勤務終了となる為、振り返りが後日になる。	ケース会議等の時間を設け、全体で共有できるように計画を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		細やかな気づきは毎日ケース記録に掲載し、支援の改善・見直しに繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に保護者ともモニタリングを行なっている。	個別支援計画書に基づいた評価表を活用し、広い視野で支援にあたっていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		視覚支援を加えながらおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が参加し、情報は事業所で周知をおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		下校時間の確認や送迎の都合上の遅れなどは、適時連絡をするようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	支援会議等を通じて共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			保護者からの要望があれば、交流の機会も検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や電話を通して気づきや成長をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		情報があれば保護者にも共有したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者との面談を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		保護者との面談を設けている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		送迎時や電話対応にて相談等があれば、面談を設けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		感染症の拡大により一時中断していたが保護者様からの声があれば再開の目処も立てていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		職員全体で共有し対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		各事業所での活動や様子を通信として保護者様に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に、顔写真公開の承諾の有無を書類にて記載していただいている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			地域との交流がない為、機会があれば活動計画に取り入れ保護者への周知をおこなう。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		契約時の説明や保護者への事前連絡により、迅速な対応に繋げている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年間行事を元に毎年定期的な訓練を実施している。	通信での活動報告や利用予定表での事前通知により保護者様にも広く通知していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に書類に記載していただき日頃においても状況変化があれば、すぐに確認できる連絡体制をとっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		今のところ該当者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事例がある都度、職員間で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		毎年虐待防止研修に参加し、職員間での周知をおこなっている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			現在対象児童の利用はないが、契約時に事前に事前説明を徹底しておこなう。	